

所属・氏名 (薬学部 薬学科 氏名 : 世良 行寛)

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概要
1 (報告・発表) プロテアソーム系を介した RNF2 による SBDS の制御	共	2021 年 5 月	第 21 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム	シュバッハマン・ダイアモンド症候群 (SDS) に 関与する SBDS タンパク質が RNF2 によるユビキチ ン化を介してプロテアソームを介した分解制御を 受けていることが明らかとなった。 ○世良 行寛、松谷 真次、山口 雅史	
2 (報告・発表) RNF2 による SBDS のユビキチ ン化と量的制御	共	2021 年 3 月	日本薬学会 第 141 年会	シュバッハマン・ダイアモンド症候群 (SDS) に 関与する SBDS タンパク質が RNF2 によるユビキチ ン化を介して分解制御を受けていることが明らか となった。 ○世良 行寛、梶山 大地、杉 賢太郎、松谷 真 次、一瀬 貴史、佐戸谷 実希、山口 雅史	
3 (報告・発表) 骨髄系細胞において SBDS 遺伝子変異によ る活性酸素 種(ROS)産生の亢進はミトコン ドリアと DNA の傷害を増強す る	共	2021 年 3 月	日本薬学会 第 141 年会	シュバッハマン・ダイアモンド症候群 (SDS) の病 態モデル細胞を作成し、その性状を解析したと ころ、ROS 産生亢進、ミトコンドリアダメージ増加、 オートファジー誘導、ゲノム DNA の切断が確認さ れた。 ○山本 桜子、武藤 朱音、古場 健太、中村 啓 太、馬原 涼雅、世良 行寛、山口 雅史	
4 (報告・発表) ユビキチンシステムによる Shwachman-Bodian-Diamond syndrome (SBDS) の機能制御	共	2020 年 3 月	日本薬学会 第 140 年会	シュバッハマン・ダイアモンド症候群 (SDS) に 関与する SBDS タンパク質と相互作用するタンパク 質として ring finger protein2 (RNF2) を同定した。 本研究により、RNF2 が SBDS をユビキチン化して いることが明らかとなった。 ○世良 行寛、松谷 真次、一瀬 貴史、佐戸谷 実希、山口 雅史	
5 (報告・発表) 急性前骨髓性白血病治療薬 としてのエトボシドの可能性	共	2017 年 10 月	第 56 回日本薬学会 中国四国支部学術 大会	概要: 白血病細胞の分化誘導能を有する化合物 としてエトボシドを見出し、その分化誘導メカニズ ムについて検討した。 ○世良 行寛、川元 優太、礒部 依里、田川 奈々、重田 雄也、山口 雅史	